

第7回美祢市総合計画審議会 議事録

日時 令和7年2月12日(水) 14時00分から15時00分まで

場所 美祢市役所 301会議室

出席者

- ・出席委員15人 進士会長、藤井副会長、山田副会長、杉本委員、中野委員、安富委員
野原委員、水野委員、青木委員、折田委員、加藤委員、高須委員
本山委員、森脇委員、綿谷委員
- ・欠席委員6人 倉増委員、大内田委員、坂本委員、竹尾委員、中元委員、松原委員
- ・事務局 佐々木部長ほか5人

議事内容(要点筆記)

1 開会

事務局により開会～資料確認

2 協議事項

(1) 第二次美祢市総合計画後期計画(案)に対するパブリックコメントの結果について

事務局より資料1について説明

○会長 御意見の1番と2番は非常に重要な御指摘と思うところ、市の考え方では、既に計画に盛り込まれている形で説明できるという提案。3番に関しては、パブリックコメントの結果を受けて指標を追加したいとの説明になる。よろしいか。

○委員 了承。

(2) 美祢市人口ビジョンの改訂について及び答申書(案)について

事務局より資料2から資料4-2について説明

○会長 答申書としてまとめるとこういう形になる。特に3の進捗管理、PDCAサイクルをしっかり回していくことが重要である。この総合計画は、非常に幅広で、いろいろなところに目配りがあった計画であるが、実際に実行されないと意味がない。前回の審議会で指摘のあったDXの推進も、人口減少が進む中では重要で、スマホを使って行政手続やオンライン診療など、高齢者の人にもデジタルの恩恵が受けられるような仕組みを早く作っていかないといけない。DXが具体的に市民生活の中で、役立ってくるのではないかと思う。審議会もしっかり進捗管理をしていく必要がある。

○委員 人口減少、高齢化、中山間地域の問題もあり、デジタル化、DXの推進は避けて通れない。これまで以上に取り組んでほしい。

○委員 オンライン診療は、郵便局と連携した取組が周南市などでも進んでいる。高齢者が多い中で、身近な場所でのデジタル化の進行に、お手伝いできることもあると思っている。

○委員 DXの推進が重要であることは同感。デジタル化で、業務の効率化や定員管理の見直し、行財政改革につながっていくと思うが、誰一人取り残さないということも続けて欲しい。進捗管理は重要で、計画に明確な数値目標があることで、行政だけでなく、市民、オール美祢で、数値目標も含めた計画の実現に向けて頑張っていくことにつながる。

○会長 人口ビジョンの改訂について、数値上は、大変厳しい状況だが数値は変更しようがない。取り組むべき人口減少対策のポイントとして、仕事の創出、人の流れの創出、結婚、出産、子育ての希望の実現、魅力的な地域の創出というのが、この人口ビジョンとしての取りまとめで、今後将来に向かってこれらが叶うように、市も市民も一緒になって考えていくビジョンであると理解し、この人口ビジョンの改訂に関して、事務局の案のとおりとしてよろしいか。

○委員 了承。

○会長 次に、二つの答申書について、美祢市総合計画の策定に関する答申、もう一つが美祢市総合計画基本構想の変更の答申については、この内容で市長に答申することによろしいか。

○委員 了承。

(3) その他

事務局から資料5、今後のスケジュール、前回審議会での意見の対応として、令和7年度から関係部長が出席する旨の説明

答申書手交式：令和7年2月19日（水）14時00分～

○副会長 資料5の21ページの関連個別計画は、市が策定している計画の全てか。DXが重要という話だが、美祢市DX推進計画は、令和8年度以降どうなるのか。

○事務局 計画の一覧は、これが全てではない。基本計画の施策に関連する個別計画を載せている。計画期間は、今現在のもので、DX推進計画も令和8年度以降も作ることが考えられるが、計画期間が確定しているもので整理している。国の計画も令和7年度までとなっており、そういったものを見つつ改廃等を行うことになると思う。

○副会長 注意書きで計画期間が定まっていないものがあるとのことだが、※がついている計画が対象か。

○事務局 御認識のとおり。

3 閉会